



はじめに

北海道の南西部に位置する白老郡白老町は、アイヌ文化と日本文化が混在している町です。夏は涼しく、冬の積雪はあまりなく、山と海の幸が溢れる食材王国でもあります。そこで、私達は白老町に滞在し、快適な気候とアイヌ文化、そして豊富な食材に触れてきました。その中で、町を歩きながら色々な方々のお話を聞き、私達「よそ者」から見る白老町の魅力と今後の課題について考えたいと思います。

1 桔梗原農園
桔梗原光男さん キノコ栽培
カネモリ森川水産
森川忠さん 加工販売

2 Calendula(カレンデュラ)
宇佐美成美さん
白老牛のビーフシチュー

3 ポロトの森
手塚日南人さん
アイヌ文化体験ができる

4 ミナパチセ
田村直美さん

5 白老八幡神社
鈴木琢磨さん

6 河庄
マスター河崎光典さん
自然のものを自ら採って提供

7 Haku
菊地辰徳さん、恵美子さん

8 荒井工芸館
荒井福子さん
木彫りなどの伝統を伝える

お世話になった方々

戴又聖規さん 元白老町役場職員 現Blue Salmon代表	林啓介さん 地域おこし協力隊員 Green Owl代表 東町ハウスオーナー	林オルガさん ロシア出身 地域おこし協力隊員	安藤尚志さん 白老町役場 教育委員会教育長	安藤啓一さん 白老町役場 企画課	浦原亮平さん	河崎光典さん	民部吉治さん	上田融さん	大河智桃子さん	山丸賢雄さん	大友幸太さん
--------------------------------------	--	------------------------------	-----------------------------	------------------------	--------	--------	--------	-------	---------	--------	--------

私たちが発見した白老町の魅力

人々の強いつながりと、そこから生まれる新しい輪

地域コミュニティ

- ① 地域の消防団やお祭りによる集まり → 生活の中で自然と生まれるコミュニティ
- ② 参拝しやすい神社の環境作り → 町内外の人とつながる、若者ボランティア



ものづくり

- ① 白老と他の地域
白老の食材×他の地域の食材
= 新しい商品
- ② 他の地域との差別化
地域の特性を活かしたものの掛け合わせ
白老の食材×白老の食材
= 他との差別化
- ③ 異文化交流
パッチワーク (布を繋ぎ合わせ、一つの作品を作る)
白老 (日本) × ハワイ、ロシア (外国)
= 言葉を越えた繋がり



人が集う場所

- ① ミナパチセ
“皆を受け入れる”というアイヌの精神をもとに、色々な人が集えるような取り組みを行っているカフェ
→ ママカフェ：子育てをするお母さん方
- ② Calendula (カレンデュラ)
お年寄りが遠出をしなくても集うことができる場所を目指したカフェ、障害者支援
→ 地域の人達
- ③ haku (ハク)
誰でも気軽に入れる集いの場作りを目指したホステル&カフェ
→ 他の地域から来た人々
地域のキーパーソンとなる人々

白老町が抱える課題とは

白老町では現在、白老町外から来た人達を主体として地域おこしを行っているように思われる。しかし、今回インタビューさせていただいた地元住民の中には、白老町に対して、今後どうしていきたいのかを明確に考えている方々もいる。これからは、より多くの地元住民の方々と、白老町外から来た人達がより近い距離で、共に地域を活性化するような活動をする事が求められると考えられる。

特に白老駅前商店街は、同じ曜日にほとんどのお店が閉まっているなど、観光客を受け入れるためにはまだまだ改善が求められるような課題があると考えられる。

